

SSKP はばたけだより vol.123



スペシャルゲスト「ピクリプ」さん
すてきな音色は秋まつりにぴったりでした



緑の中のあったか空間…はばたけ秋まつり

10月19日(土)、アクティビティセンターはばたけでは、新しいはばたけとして初となる地域イベント「はばたけ秋まつり」を開催しました。模擬店の匂いにつられて、裏のお家の方がフェンス越しに「ちょうだい!」とひょっこり顔を出されたり。ステージでは、近所の児童館で活動されているダンスグループやお隣の中学校の合唱部などにご出演いただき、フラダンスでは観客席から「ママがんばれー」と声援を送るお子さんの声も…。そんなあたたかな時間が流れる秋まつりになりました。

これからも野崎や深大寺といった近隣の小さなコミュニティのつながりを深めるきっかけになるような行事に育てていきたいと思っております!

ご協力いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



新年あけましておめでとうございます

本年も皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます

社会福祉法人おおぞら会
理事長 西原 雄次郎

障害者権利条約が批准されました

2006年12月に国際連合で採択された「障害者権利条約」が、約7年を経過して2013年12月に日本でも批准が承認されました。すでに138ヶ国が批准していましたので、日本は批准までにずいぶん時間がかかったと言えるでしょう。国によって考え方は様々で、先ず条約の批准手続きを済ませてから国内法の整備を進めていく国々と、国内法を整備してから条約を批准する国々とがあるようです。日本は後者の国の一つと言えるでしょう。国は早く批准することを目指したようですが、多くの関係団体は国内法を整備してから批准することを求めています。その結果、「障害者基本法」の改正や、「障害者虐待防止法」や「障害者差別解消法」等々の法整備が行われやっとなり条約批准にいたったようです。

私は、障害児教育に関する制度の整備が済まないことが条約批准を遅らせている大きな要因の一つだと思っていました。ところが、そうではなかったようです。インクルージョン（包摂）という考え方が、教育の分野での基本的な理念であると国際的には考えられていますので、障害児と健常児を分離して教育をするという日本の教育の基本方針のままではこの権利条約を批准することは出来ないのではないかと考えていました。全ての義務教育諸学校に、障害のある子ども達を当たり前のように受け入れ、専門教員やソーシャルワーカーを配置して必要な支援（障害のある子ども達への個別支援だけでなく、健常と言われる子ども達にも障害のある子ども達のことを知ってもらうための支援も含まれます）を行っていくという方向を示すことが条約の理念に沿う考え方だと思うのです。これを原則にしたうえで学校選択が出来るようにすべきだと思うのです。分離教育を原則にして学校選択が出来るというのでは大きな違いがあると思うのです。将来の良き理解者を育てるだけでなく、誤解や偏見を持つ大人にならず済むような健常児への支援も義務教育の大きな役割の一つだと思うのです。条約の批准を契機に、この条約に照らして今後もこの分野での制度の整備に努力を重ねてほしいと思います。

さて、おおぞら会は皆様からの多くのご支援を得て、2014年を迎えることが出来ました。障害のある子ども達から大人の方々まで、そして認知症のある高齢の皆様、これまでの地域での生活を支える仕事にこれからも邁進してまいります。資金面での悪戦苦闘が続きますが、職員の皆様の頑張りでかろうじて支えられています。



新しい年も、変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



皆様お健やかに佳き新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年も皆さまの暖かなご支援、ご指導をいただき、ありがとうございました。利用者様も少しずつ増え、野ざきの家もとても賑やかになって参りました。職員一同、初心を忘れず、今年も頑張つて参りますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

さて、最近の野ざきの家の様子ですが、11月にブレイクダンスの会や遠足、12月はクリスマス会など、楽しいイベントがたくさんありました。今回はブレイクダンスの様子についてご報告致します。

ブレイクダンスの会は、野ざきの家では実は2回目の開催でした。ご縁があってボランティアに来て下さったダンサーの皆さんが「また野ざきの家に行きたい!」とわざわざお声かけ下さって、今回の2回目が実現しました。

高齢者とブレイクダンス?と一見不思議な組み合わせに首を傾げる方もいらっしゃるかもしれませんが、若いお兄さんたちが大迫力のダンスを目の前で見せてくれたり、みんなで歌ったり、とっても盛り上がり、利用者さんたちも大喜びでした。まずはブレイクダンスの基本の技を披露して下さい、頭を地面につけてぐるぐる回転したり、片手で逆立ちをしたりする様子に皆さん釘づけ。生のバイオリンやボンゴの音も加わって、大迫力でした。工房時の利用者さんも遊びに来てくれて、ダンサーさんのリードと一緒に踊る一コマもありました。それから、バイオリンの伴奏で皆さんで「ふるさと」などの懐かしい歌を大合唱。締めくくりはこれまたバイオリンの生演奏による「ラジオ体操」、みんなで身体を動かして笑顔いっぱい、会が終わりました。ダンサーの皆さんと一緒におやつをいただき、足湯を楽しんでいただいて、楽しいひとときを過ごしました。



遠方から、貴重なお休みをさいてボランティアに来て下さったダンサーズの皆さんに感謝です。ダンスだけではなく音楽も一緒に楽しめるようにと、唱歌の歌詞カードを作ってきて下さったり、みんなで出来るラジオ体操を取り入れて下さったり、細かな配慮もいただいて、本当に和やかで楽しい時間が持てました。こんなご縁やお気遣いの積み重ねで、わたしたちの支援も、利用者さんの笑顔も支えられているのだと改めて感じました。

同じ日に福祉まつりなど他のイベントが重なってしまったこともあり、外部からのご参加の方が少なかったことがちょっと残念でしたが… いつか第三弾も実現したいと思いますので、その際はどうぞ皆さんもふるってご参加下さい♪



～ 工房 時 ニュース ～

- ・敬老のつどい 大口受注!
- ・好評! 新製品「時の枝」

秋のイベントシーズン、さまざまな催しで製品販売を行いました。

- 9/15 三鷹市敬老祝い(クッキー納品)
- 9/29、10/6、13 国体販売(大沢グラウンド)
- 10/19 はばたけ秋まつり
- 10/20 吉祥寺教会バザー
- 10/27 けやき苑祭り
- 11/3 三鷹社協バザー、弘済園祭り



今年三鷹市役所に、敬老の集いのお祝い品として、工房時のクッキーを採用していただきました。その数、**なんと2,000個!** 製菓部以外の利用者みなさん、職員も総出でラベル貼りや袋詰めをしました。納品には間に合ったのですが、当日の催しはあいにくの台風のため中止となってしまいました…(品物は後日、各ご家庭に届けられました)。開所以来はじめての大口注文にてんやわんやでしたが、出来上がった製品の山を前にして、心地よい充実感が得られました。みなさんお疲れ様でした～!!



様よい大きさに
切り分けて…

「揚げ」じゃなくて、
「焼き」なんです!

夏から販売を開始した製菓部の製品「時の枝」が、各方面でご好評をいただいております! 企画から1年以上かけて試作を重ねた結果がようやく実を結んで、製菓部の面々はとても喜んでおります。今後もよろしくお願いいたします!



○ 地域とのつながり ～ おもむくカフェ 編 ～

①毎週月曜日のおもむく食堂の定休日を使って、製菓部ではおもむくカフェを開店しています。美味しいコーヒーとお菓子でおもてなし、地域の方の憩いの場になればと思っています。

通常の営業の他に、何かイベントを開きたい…ということでボランティアの方のご協力をえて「手芸カフェ」を月1回開催しています!(講師は、夢民工房の夢民さんです) 12月はクリスマス、ミニリースを手作りです!



手芸の後はティータイム♪



4名ほどの少人数で行っています。



人形劇のようす みなさん見入っています。

②イベント第二弾は、「おはなしカフェ」です! 小さいお子様も楽しめるよう、人形劇や絵本の読み聞かせをしていただきました(講演は、おはなしくらぶさんです)。

地域の児童館や民生委員の方に広報をご協力いただき、時やはばたけのメンバーも含めて多くの方にご参加いただきました。次回も予約の申込が入っています。今後は地域の団体様へ店舗スペースをお貸しする等、より多くの交流機会を持ちたいと考えていますので、みなさまのお問い合わせお待ちしております!

(事務責任者:中野)

アクティビティセンター はばたけ



表紙でもお伝えしたように、はばたけでは、地域交流の行事として「はばたけ秋まつり」を開催しました。はばたけを会場に、普段の様子ที่伝わるような雰囲気を作ろうと、てづくりの装飾や催しを考え当日に向けてみんなで準備をしました。会場づくりでは、トンカチやアイロンにミシン…と普段使わない道具にも挑戦し、またペンキや絵の具でダイナミックに色塗りを楽しみ、得意な絵を描き、普段の創作活動の集大成のようなカラフルであたたかな飾りがたくさん出来上がりました。

はばたけの活動では、それぞれのペースやできることに合わせ「達成感を味わう」「誰かとつながる」「チャレンジする」ことを大切にしています。今回の「はばたけ秋まつり」は、その活動の一環としても手応えのあるものになり、利用者のみなさんも「自分たちの手でつくった空間」を披露でき誇りに思える1日となりました。(管理者 入倉暁子)



はばたけの活動では、それぞれのペースやできることに合わせ「達成感を味わう」「誰かとつながる」「チャレンジする」ことを大切にしています。今回の「はばたけ秋まつり」は、その活動の一環としても手応えのあるものになり、利用者のみなさんも「自分たちの手でつくった空間」を披露でき誇りに思える1日となりました。(管理者 入倉暁子)



← 新製品もお披露目！てすきの原料でつくったストラップです！



三鷹市民駅伝 完走!

11月24日(日)、小春日和の中、三鷹の街を「工房時&はばたけチーム」が快走しました!

2チーム8名の精鋭選手がみんなでタスキをつなぐべく、懸命に走りました!

結果は一般の部133チーム中、122位と133位!最終ランナーということもあり、市長がお出迎えの中、沿道の声援がひとつになり感動のゴールとなりました!



サポートネットあすは & あすはKids

移動支援・居宅介護事業
放課後等デイサービス



よりそった支援とは・・・

新年明けましておめでとうございます。
おかげさまで良き新年を迎えることができました。本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。

さて、「あすはKids」では、絵を描く取り組みを行っています。モチーフを決めなくても、子供たちそれぞれが自分の好きなもの、気になっていること等、思い思いに描いていることが多いです。ただ職員が意識をしていないと「こういう絵を描いて欲しい」といった願望を子供たちに求めてしまうことになりがちです。特に「コンクールに出す」といった目的がある場合には、ともすれば職員が誘導？するといったこともあるような気がします。もちろん上手くなることで、さらに絵を描く楽しみが深まるといったこともあると思いますが、出来るだけ本人の素のままの感性を生かしたものになるようにと考えています。

絵を描く時間でのこと・・・乗り物が好きなA君に「バスや電車の絵が描ければいいなあ」と思いながら、画材を手渡しました（これも誘導？）。すると何やらアルファベットと番号を描きだしました。窓の外を走っているバスを見ながら、描いているようです。「何の番号だろう？」と思いながら描いている様子を見てみると、謎が解けました。バスの側面に表示してある、車体番号を描いていたのです。ちゅうもくしているところが僕とは違うのですね。そういった本人の感性を大事にしていきたいと思います。



別の日にこういったこともありました。「夏祭り」といった文字をポスター用に書いてもらおうと、職員が長方形の枠を描いた画用紙を渡しました。するとA君は、長方形の下の部分に○を描き始めました。よく見ていると車輪のようです。また長方形の枠の中に四角を描き始めました。窓のようです。電車になっていきました！長方形から想像力が湧いてきたのですね。何かのきっかけがあれば絵が描けるのです。素晴らしいと思います。A君が描いている様子を見てると楽しくなってきました。



絵が上手く描けるようになることも大事ですが、創造力が刺激され「自分にとって意味のあるものを描く」といった過程が大事なのだと思います。一人ひとり、自分にとって大切なものを持っていると思います。そういった子供たちの感性を見逃さないようにし、側面から支援することが大事だと思います。



管理者 立野信行



おおぞら会後援会ニュース

～活動のご報告～

新年、あけましておめでとうございます。皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年のおおぞら会後援会は、法人の各事業所と連携し、さまざまなイベントを開催・参加しました。

左記の活動においては、ご家族を中心として、多くの会員の皆様と地域の皆様からご協力をいただきましたことに、改めて御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

事業所ごとの企画の良い面は、各々の活動を知るための機会を作れる事です。法人として5つの拠点を構え、10を超える事業を運営する現状で、お互いに顔を合わせる事が難しい状況もあるのですが、こうしたイベントを助け合いながら開催することで、「おおぞら会」という大きな志を共有していければと思います。後援会はそれを支える、縁の下の力持ちでありたい…そんなことを考えています。今後とも、皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

主な活動 (7月～12月)		
7/20	工房時・野ざきの家 夏祭り	模擬店販売
8/4	あすは・Kids 夏祭り	ミニバザー
10/19	はばたけ 秋祭り	ミニバザー
11/3	三鷹市社協バザー	バザー
12/22	あすは・Kids クリスマス会	ミニバザー

あるのですが、こうしたイベントを助け合いながら開催することで、「おおぞら会」という大きな志を共有していければと思います。後援会はそれを支える、縁の下の力持ちでありたい…そんなことを考えています。今後とも、皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

★後援会新規ご入会・ご更新

個人101名、団体2社より、ご入会・ご更新の手続きをいただきました。ありがとうございました。

★後援会へ寄附

個人6名、団体2社より、後援会へご寄付をいただきました。ありがとうございました。

★法人・各事業所・千人会へ寄附

個人21名、団体1社より、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

皆様 ありがとうございました。

後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

(以上、7/27～11/30 集約分)

information

福祉のお仕事 始めてみませんか？

おおぞら会では、法人内の施設で働く職員を募集しています。



● 工房 時

・障がい者支援員(施設での日中活動支援) 契約職員1名(フルタイム)

● つなぐなかまの家(障がい者ケアホーム)

・世話人(障がい者の生活支援・食事提供・夜間見守り) 契約職員1名(フルタイム)

● 野ざきの家(高齢者居宅介護)

・介護支援員(高齢者の介護・日中活動支援など) 契約職員1名(フルタイム)

実務経験者・有資格者(社会福祉士・ガイドヘルパー養成研修修了者・ヘルパー2級など) 歓迎
そのほか、詳しい求人条件等のお問い合わせはハローワーク またはこちらまで…

《 お問い合わせ 》

TEL : 0422 - 30 - 5571 (法人本部 : 三浦)

社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|--|---------------|----------------------|
| ・ アキティブ・テイセナーはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房 時 (就労移行事業・就労継続B型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野ざきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ ショートステイさくら (短期入所事業) | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |
| ・ つなぐなかまの家・さくらハイツ (グループホーム・ケアホーム事業) | | tel 0422-30-5571(本部) |

久しぶりに都心に出た。地下鉄でキョロキョロしながら目的地の六本木に到着。おのぼりさん状態である。はばたけのある多摩地域も東京なのだが緑豊かで空も広い。ビルが立ち並ぶ都心は私からすると「TOKYO」であり異空間だ。動き続ける街に人酔いしすぐに帰りたい衝動に駆られた。というものの、大学時代に住んでいた路線バスもない田舎町は心休まるがなにか物足りなく感じた。以前、都心育ちの友人は「私はビルの中に帰ってくるとほっとする」と話していた。どこであれ生まれ育った環境がじっくりくるのかもしれない。住めば都という言葉もあるが、住み慣れた場所や空気感に回帰する気持ちはいつまでもあるものだろう。施設に勤めてきた中で、「ここで暮らしたい」というご本人の思いを知りつつも、それぞれの事情で送り出さなくてはならない場面を何度か経験してきた。そんな苦い記憶が帰りの電車でふとよぎった。誰もが持つささやかな願いや自由も、障がいのある人たちにとっては依然大きなハードルだ。(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 [頒価 50円]

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者:入倉暁子